

I 2021年度事業報告

1 概況

公益財団法人福田記念医療技術振興財団の2021年度における各種事業は、各方面からの多大なご協力を得て予定された事業を以下のとおり実施した。

2 役員会議等

(1) 2021年4月1日(木)

2021年度研究助成事業及び国際交流助成事業(前期)の公募開始

(2) 2021年4月24日(土)

2021年度研究助成事業及び国際交流助成事業(前期)応募申請を締切
(76件)

(3) 2021年4月27日(火)

2020年度決算の監事監査

(4) 2021年5月27日(木) 第1回選考委員会を開催

2021年度研究助成事業及び国際交流助成事業(前期)の選考審議

(5) 2021年6月3日(木) 第101回理事会を開催

- ① 2020年度事業報告書及び決算書を承認
- ② 2021年度研究助成事業及び国際交流助成事業(前期)助成者の決定(21件)
- ③ 次期理事及び監事候補者名簿の承認
- ④ 次期選考委員の選任を決議
- ⑤ 定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的である事項等を決議
- ⑥ 報告事項として
 - ・2021年度職務執行状況及び基本財産の運用管理報告を了承

(6) 2021年6月4日(金)

2021年度研究助成事業及び国際交流助成事業(前期)助成者の公表

(7) 2021年6月22日(火) 第63回評議員会を開催

- ① 2020年度事業報告書及び決算書の承認を決議
- ② 次期理事及び監事の選任を決議
- ③ 報告事項として
 - ・2021年度研究助成事業及び国際交流助成事業(前期)の助成者決定を了承
 - ・次期選考委員の選任を了承
 - ・2021年度職務執行状況及び基本財産の運用管理報告を了承

- (8) 2021年6月22日(火) 第102回理事会(決議省略)
次期理事長及び常務理事の選任を決議
- (9) 2021年6月30日(水)
2020年度法人事業報告等を内閣府に提出
- (10) 2021年12月1日(水)
2021年度国際交流助成事業(後期)及び論文等表彰事業の公募開始
- (11) 2021年12月1日(水)
福田記念医療技術振興財団情報第34号発刊
- (12) 2021年12月15日(水) 第103回理事会(決議省略)
2020年度決算における遊休財産の保有上限超過の解消策として、750万円を特定資産(6号財産)に「助成事業積立金」として計上し、将来の助成事業に使用することを決議
- (13) 2021年12月15日(水)
遊休財産の保有上限超過の解消策を内閣府に提出
- (14) 2021年12月31日(金)
2021年度国際交流助成事業(後期)及び論文等表彰事業応募申請を締切(32件)
- (15) 2022年1月27日(木) 第2回選考委員会(メールでの審議)
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会議を招集せずメールによる審議とした。
① 2021年度国際交流助成事業(後期)及び論文等表彰事業の選考審議
② 2022年度研究助成事業等募集要項(案)及び助成事業等予算案を策定
- (16) 2022年2月10日(木) 第104回理事会(決議省略)
新型コロナウイルス感染防止の観点から、会議を招集せず文書による決議省略の方法によるものとした。
① 2021年度国際交流助成事業(後期)及び論文等表彰事業の助成者を決定(10件)
② 2022年度研究助成事業等募集要項及び助成事業等予算の承認を決議
③ 評議員会の開催日時及び場所並びに目的である事項等を決議
④ 選考委員報酬の改定案を承認
⑤ 報告事項として
・2021年度職務執行状況及び基本財産運用管理の報告を了承
・2022年前期日程(案)を了承
- (17) 2022年2月14日(月)
2020年度国際交流助成事業(後期)助成者及び論文等表彰事業表彰者の公表

(18) 2022年3月7日(月) 第105回理事会を開催

- ① 2022年度事業計画及び収支予算を決議
- ② 財団の保有する遊休財産の取扱いについての承認を決議
- ③ 2022年度研究助成事業等実施要綱の承認を決議
- ④ 理事長辞任に伴う代表理事の選任を決議
- ⑤ 報告事項として
 - ・2021年度職務執行状況報告を了承

(19) 2022年3月18日(金) 第64回評議員会を開催

- ① 選考委員報酬の改定案の承認を決議
- ② 報告事項として
 - ・2022年度事業計画書及び収支予算書を了承
 - ・財団の保有する遊休財産の取扱いを了承
 - ・2022年度研究助成事業等実施要綱を了承
 - ・2021年度国際交流助成事業(後期)及び論文等表彰事業の助成者の選考結果を了承
 - ・2021年度職務執行状況報告を了承

(20) 2022年3月30日(火)

2022年度法人事業計画等を内閣府に提出

3 事業内容

(1) 研究助成事業

2021年度の研究助成事業は、募集要項に基づき、前年度より助成額及び予定件数を増やして公募を行った。2021年4月1日に募集を開始し4月24日に応募を締め切った。個人研究25件、共同研究46件、合計71件の申請を受理。各選考委員に申請書を送付し各委員の5段階評価による第1次審査を経て、第1回選考委員会の合同審査において、発想の独創性、研究計画の実現性、研究又は研究体制の発展への貢献度及び当財団の助成対象としての適合性等の見地から判断して、個人研究9件：8,955千円(予算8件：8,000千円)、共同研究8件：22,915千円(予算7件：21,000千円)、合計17件：31,870千円(予算15件：29,000千円)を選考、6月3日の第101回理事会において承認を得て助成を行った。

(2) 国際交流助成事業

2021年度の国際交流助成事業は、募集要項に基づき、研究留学の助成額を前年度より増額して公募を行った。前期募集は2021年4月1日に公募を開始し4月24日に応募を締め切った。研究留学4件、研究者招聘1件、合計5件の申請を受理。国際会議出席の申

請はなかった。各選考委員に申請書を送付し各委員の5段階評価による第1次審査を経て、第1回選考委員会の合同審査において、MEを利用した医療技術の発展に寄与する可能性が認められること、渡航歴の少ない若手研究者を優先し、国等の助成が得難く当財団の助成する意義が大きいこと等の見地から、研究留学3件：6,000千円（予算3件：6,000千円）、研究者招聘1件：100万円（予算2件：200万円）を選考、6月3日の第101回理事会において承認を得て助成を行った。

また、後期募集は2021年12月1日に公募を開始し、12月31日に応募を締め切った。研究留学10件、国際会議出席1件、研究者招聘1件、合計12件の申請を受理。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から会議は開催せずメールでの審議とした。各選考委員に申請書を送付し、各委員の5段階評価による第1次審査の集計結果をもとに委員長案を各委員に提示しメールで審議した結果、研究留学4件：8,000千円（予算3件：6,000千円）、国際会議出席1件：300千円（予算2件：600千円）、研究者招聘1件：990千円（予算2件：2,000千円）を選考、2月10日、第104回理事会（決議省略）において承認を得て助成を行った。

(3) 論文等表彰事業

2021年度の論文等表彰事業の募集は、2021年4月1日から公募を開始し、12月31日に応募を締め切った。20件の申請を受理。他の助成事業と同様、各選考委員に申請書を送付し各委員の5段階評価による第1次審査の集計結果をもとに委員長案を各委員に提示しメールで審議した結果、MEを利用した医療技術の発展に貢献することが期待でき、当財団の対象としての適合性等の見地から、優秀賞として4件：2,000千円（予算2件：1,000千円）を選考、2月10日第104回理事会（決議省略）において承認を得て助成を行った。

(4) 機関誌『福田記念医療技術振興財団情報』（第34号）の発刊

2021年12月1日に、国際交流助成事業実績報告（6編）、研究助成事業研究報告書（10編）、表彰論文（4編）、当財団の事業概要と実績を収載した機関誌を発刊した。

(5) 研究助成者記念品贈呈式及び講演会

予定していた研究助成者記念品贈呈式及び講演会は、出席者等の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむなく中止した。記念品及び贈呈書については各助成者に送付した。

2021年度事業報告 附属明細書について

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。